

# Support



NO.6

令和5年3月3日

編集・発行

学校支援課 広報担当

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

## Report -授業事例-

資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」へ  
計画訪問より…キーワードは「単元で育成」「アウトプット」「振り返り」「ICT」

### 小学校5年 体育 単元「表現運動」

活動の面白さで子どもたちは意欲的に取り組みます。表現に必要となるであろう「コツ」を想起させることで、見通しをもって取り組みます。ICTの活用により、試行と思考の往還がスムーズになります。



今日は「火山の噴火」を表現してみよう！どんなコツを使って、どのように動くよいかな。



一人でジャンプをすると「打ち上げ花火」のように見えるね。でも、何人がかかると火山のように見えるよ。



「離れる」「集まる」というコツを使って、グループで、何度も繰り返してみよう！



同じコツでも、スピードや体の使い方を変えると、火山に近づけそうだ！

### 自閉症・情緒障がい特別支援学級 国語科「三年とうげ」

一人一人の児童の得意なことと意欲を生かした役割分担で、劇を完成させるためにお互いの考えをやり取りし、工夫を重ねました。関わりの中で「幸せのヒント」を活用しました。



結びの場面を楽しい雰囲気にするために、それぞれの役割のみならずどんな工夫ができるかな。「幸せのヒント」の「協力」を使って練習しましょう。



マットをつなげて転がりたい！マットのスペースが十分じゃないな。どうしたら、スペースがでけそうかな。



気分が乗らないのかな？僕が代わりにやるね。できるときになったら手伝ってね。



今日の振り返りをします。△△さんが、「代わりにやる」をうまく使って、劇がスムーズに流れた。「幸せのヒント」は、やっぱり大切な。

「幸せのヒント」：自立活動の指導事項を子どもたちと確認して学級掲示している。例) ゆずる、がまん、お願い、多数決、やめる、予約、みとめる 等

### 中学校1年 音楽 「学校のテーマソングを創作しよう」

追求する価値のある課題を設定し、生徒に話し合いの時間をたっぷり預けます。生徒は、試行錯誤しながら話し合うことで、これまでの知識を駆使したり、生徒自ら徐々に考えをまとめたりしていきます。



キーワードに付けた音楽を持ち寄り、一つの音楽につなげてみよう。どのような点に気を付けて音楽を創作すればいいかな？



Score Creatorで音符を配置して、一つにまとめるってどんな音楽になっているかな？試してみよう。



楽曲パーツカードを並べ替えるってどうなるかな？Garage Bandで演奏したり、歌ったりして確かめてみよう。



イメージに近づくためには、反復させたり、音の進行を工夫したりしたほうがいいね。

## 高等学校・中等教育学校（後期課程） 「探究的な学習の時間」

新潟市教育委員会では、新潟市立高等学校・中等教育学校の魅力化・特色化を図るため、探究的な学習の充実を目指しています。今号では、新潟市立高等学校・中等教育学校の探究的な学習の概要を紹介します。

### 探究的な学習とは？

生徒が「自分なりに問いを立て、情報を集めて分析し、まとめて、発表する」一連の学習のことで、自ら立てた問いを探究することから、学ぶ意義が自覚されるとともに、学びへの意欲が高まると期待されます。なお、高等学校学習指導要領(H30年告示)では、「総合的な学習の時間」が「総合的な探究の時間」に改められ、新教科「理数」に「理数探究」が新設される等、探究的な学習を重視しています。

### 1 万代高等学校 「総合的な探究の時間」

「教える」から「考える」へ、生徒と教師が同じ地平で共に探究する姿を目指し、学年毎に重点目標を定めて学習を構成しています。

1学年では、「新潟市の現状と未来」をテーマに、観光や子育て、医療など、6分野に分かれて探究学習を行い、学習の成果を「新潟市への提言」としてまとめます。

2学年では「学問分野×新潟市のこれから」をテーマに、各自が興味・関心を持つ学問領域をとおして1学年での学習を再考します。また、理数コースでは、自然科学分野の実験や観察を重視した「課題研究」も行っています。「バナナの熟し方」・「ラーメンの麺のノビ」など身近な視点を論理的に切り込んでいます。

3学年では、「探究レポートの作成」をテーマに、1・2年での学習を総括し、レポートとして発表します。



新潟市職員や、各方面のエキスパートをサポーターとして招き、生徒の視野を広げている。



理数コース課題研究会。発表後の質疑も大切な学習です。

### 2 明鏡高等学校 「明鏡ゼミ」

「明鏡ゼミ」は、令和4年度に開設した明鏡高等学校独自の教科で、「社会性の育成」＋「地域理解を深める」の2本柱で構成しています。1年次生を中心に30名程が受講し、「コミュニケーションのコツ」、「認知再構築法（ストレスマネジメント）」、「コンセンサス（合意形成）」（砂漠で遭難したら？の設定による対話実習）、「地域理解」（沼垂テラスの魅力をもとに「にいがたデジコングランプリ」に応募）といった授業を行っています。

#### 明鏡ゼミの目指す姿

- ①前に踏み出す力(アクション)
  - ・主体性
  - ・働きかけ力
  - ・実行力
- ②考え抜く力(シンキング)
  - ・課題発見力
  - ・計画力
  - ・創造力
- ③チームで働く力(チームワーク)
  - ・発信力
  - ・傾聴力
  - ・柔軟性
  - ・状況把握力
  - ・規律性
  - ・ストレスコントロール力



工夫した表現が楽しい沼垂テラス紹介ポスター

### 3 高志中等教育学校 「グローバルフィールドスタディ」

6年間をとおした探究学習を「グローバルフィールドスタディー」と名付け、系統的に構成しています。前期課程はグループ追究とし、探究のサイクル（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）を経験します。後期課程では、より高度な内容により個人探究活動を行います。特色ある実践として、3学年の「起業プロジェクト」が挙げられます。ビジネス、起業とはどのようなことかについて知り、これからの新潟市の課題解決のためのビジネスプラン作成のヒントを得ます。実際に県内で起業されている起業家の方から起業への思いを直接聞き、起業への思いを高め、生徒自らが「起業プラン」を考えて発表します。沖縄フィールドワークで実地調査を行ったりする等、実践的に学んでいます。



起業プロジェクト講演会の様子。講演によりビジネスプランとは何かを学ぶ。新潟ビジネス支援センターの協力を得て実施。

## 教育委員会としての取組

### (1) 市教育コンソーシアムの設立

探究的な学習における関係機関との連携・協働を促進する共通のプラットフォームとして、令和3年度に「新潟市高等学校等教育コンソーシアム」を創設しました。加盟団体を増やしなが、現在は36の大学や行政機関等により構成しています。令和4年度は、のべ1,976名の生徒がコンソーシアムの枠組みを利用して学びました。

### (2) 探究的な学習に関する教員研修の実施

探究的な学習を指導する先生方の力量を高めるため、令和4年度は探究学習に関する研修講座を2つ開講しました。

受講者からは、「興味深い実践事例を学べ、すぐに授業で取り組みたいと思うことが多くあった。」などの声が聞かれました。



- ①「高等学校における探究学習Ⅰ」(R4.6.30実施)
  - ・県立新潟南校等学校SSH主任による実践発表
  - ・市立万代高等学校の実践発表
- ②「高等学校における探究学習Ⅱ」(R4.11.24実施)
  - ・新潟大学創生学部 田中一裕 教授の講演
  - 演題「『総合的な探究の時間』のねらいと評価」
  - ・市立高志中等教育学校の実践発表

市教育コンソーシアム運営委員会 (R5.1.31)。毎年、加盟団体の代表が集まり、社会に開かれた教育課程の実現に向けて連携の在り方を協議する。

# 子どもを豊かにする学校図書館

## 令和4年度 学校図書館活用推進校事業 実践報告会を終えて

学校図書館活用推進校実践報告会が2月に行われました。

各推進校が、学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を生かし、情報活用能力の育成や探究的な学習を目指した実践は、どれも参考となるものばかりです。ここで紹介する実践は、ほんの一例です。是非、推進校の実践が紹介されている新潟市HPにアクセスしてください。

**【お知らせ】学校図書館活用推進事業実施報告 新潟市HPに推進校の実践が載っています!**

「新潟市」>「子育て・教育」>「学校教育」>「教育課程」 「学校図書館活用推進事業実施報告」

★令和元年度以降の推進校が作成した「学校図書館教育全体計画」「学校図書館年間活用計画」「実践報告」を見ることができます。令和4年度活用推進校の実践は、令和5年4月中旬頃掲載予定です。

## 令和4年度 活用推進校の実践

令和4年度学校図書館活用推進事業では、小学校・中学校・特別支援学校・中等教育学校から、計36校が、推進校として指定されました。

### 東特別支援学校 学校司書と授業者の連携

授業準備・  
授業への参画

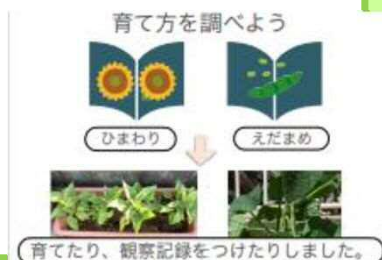
①年間を通じて  
学校司書による  
出前読み聞かせ

②各教科の授業で  
絵本や図鑑などの関連図書の準備

③連携の中心として  
地域教育コーディネーター、給食部との  
連携、保護者へのお知らせ

遊びの指導や生活単元学習、図工などの学習に、読み聞かせや図書の活用を位置付けた取組が報告されました。

学校司書に、テーマや目的に合った図書の準備を依頼することで、授業のねらいや学年に応じた図書を効率よく揃えることができます。



「読書」って、「物語」の本を読むことだけなの？

「読書」は、「物語」の本を読むことだけではありません。

「読書とは、文学作品を読むことに限らず、自然科学・社会科学関係の本や新聞・雑誌を読んだり、何かを調べるために関係する本を読んだりすることなども含めたもの※1」「読書とは、本を読むことに加え、新聞、雑誌を読んだり、何かを調べるために関係する資料を読んだりすることを含んでいる※2」とされています。

育成したい資質・能力や学年の発達段階に応じた読書環境を整え、児童生徒が、必要に応じて読書を通して、情報収集することができる場や時間を確保する手立てや、国語や社会科、理科、生活科、家庭科、図画工作、道徳などの各教科等で、図書を活用した授業の年間指導計画等については、各推進校の取組から学ぶことができます。

※1 平成16年2月3日文化審議会「これからの時代に求められる国語力について」 ※2 【国語編】小学校、中学校、高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説

学校図書館の利活用で

情報収集、選択、活用の力を!



○両川小学校、両川中学校では、調べ学習の手順について意見交換を行い、9年間を通して身に付けてほしい過程を共有されたそうです。  
○児童生徒が、自ら、必要に応じて調べ学習を行うことができる環境を整えることは、これからの「個別最適な学び」を推進していく上で、必要な環境整備といえます。



中学校の掲示

情報活用能力

鳥屋野中学校  
上所小学校  
女池小学校

○情報を正しく扱う姿勢を小中で継続して育成するために、「出典・引用カード」を中学校区で使用する実践が紹介されました。ロイロノートでカードを配付したり、使い方の資料を共有したりすることで、活用しやすいカードになったとのことです。  
○特に、6年生は、中学校区で共通様式を用いることの学習効果が期待できそうです。

中学校区合同研修会で「図書館部」「司書部会」を設け、連携について協議された中学校区が増えました。情報連携・行動連携の大きな一歩です。



- おすすめの本の紹介（動画、POP、ランキングなど）
- 読書週間を同じ時期に実施
- 9年間の情報活用能力指導体系表の作成
- ～司書教諭と学校司書が、中学校区で連携をすすめています!!～

小中連携の  
アイデア  
いろいろ

新聞の複数配備は  
進んでいますか？

第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」が示されました。  
新潟市でも、小学校2紙、中学校3紙などの配備目標の達成を目指しています。

実践校の成果と課題より（一部抜粋）

- 図書資料・インターネットの検索の手順や引用、出典の示し方など、調べ学習に必要なスキルを計画的に身に付けさせていくと同時に、明確な目的意識をもち、（児童が）図書資料とインターネットの使い分けをすることができるよう、今後もサポートしていく必要がある。
- 高学年での読書量の減少に関しては、新たな働きかけを講じる必要がある。朝読書や隙間読書の推奨等、全校体制での取組を検討していけるとよい。
- （生徒が）手に取る本が9類以外の図鑑や専門書であることも多くなってきた。読む本の幅が広がり、本への親しみが増している様子が見られる。引き続き、さまざまなジャンルの本を薦め、魅力ある図書館づくりに努めたい。

学校図書館は

自分で

友達と

先生と

ボランティアさんと



季節に合わせた掲示

身近な情報  
知りたい情報



落ち着いて安心して過ごせる  
心の居場所づくり

環境デザイン

子どもたちの学びのほっとステーション